



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月9日

上場取引所 東

上場会社名 イノテック株式会社

コード番号 9880 URL <https://www.innotech.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 大塚 信行

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部長 (氏名) 奥津 明洋 TEL 045-474-9000

四半期報告書提出予定日 2023年8月14日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	8,689	△3.8	101	△70.5	325	△41.0	189	△28.6
2023年3月期第1四半期	9,036	△2.1	343	△57.8	550	△42.3	265	△58.4

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 △19百万円 (ー%) 2023年3月期第1四半期 423百万円 (△58.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	14.45	14.08
2023年3月期第1四半期	20.29	19.77

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	44,339	24,082	52.2
2023年3月期	43,629	24,589	54.1

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 23,159百万円 2023年3月期 23,605百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	ー	35.00	ー	35.00	70.00
2024年3月期	ー	ー	ー	ー	ー
2024年3月期（予想）	ー	35.00	ー	35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	43,000	11.3	3,000	29.3	3,000	20.9	2,000	20.0	152.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	13,700,000株	2023年3月期	13,700,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	570,918株	2023年3月期	558,918株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	13,140,027株	2023年3月期1Q	13,108,182株

(注) 期末自己株式数には、「株式給付信託（J-ESOP）」に係る信託E口が保有する当社株式（2024年3月期1Q 42,000株、2023年3月期 42,000株）が含まれております。また、信託E口が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております（2024年3月期1Q 42,000株、2023年3月期1Q ー株）。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

四半期決算補足説明資料は、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8
(収益認識関係)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、社会経済活動の正常化が進み個人消費や設備投資を中心に緩やかな回復基調で推移したものの、ウクライナ情勢の長期化や円安の進行等を背景とした資源価格や物価の高止まりに加え、欧米での金融引き締めによる景気後退懸念や米中貿易摩擦の影響など、先行きについては依然として不透明な状況が続いております。

このような状況の下、当社グループにおける当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、システム・サービス事業が堅調に推移したものの、テストソリューション事業が低迷したことなどから、売上高8,689百万円（前年同期比3.8%減）、営業利益101百万円（同70.5%減）、経常利益325百万円（同41.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益189百万円（同28.6%減）となりました。

報告セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

[テストソリューション事業]

テストソリューション事業は、半導体メモリー市場等の顧客を中心に当社グループのエンジニアリング力を活かし、高付加価値製品の提供に注力するとともに、顧客ニーズに対応した製品の開発やメモリー以外の周辺ソリューションの拡大に積極的に取り組んでまいりました。自社製テストシステムは、新製品の販売が好調に推移したものの、半導体市況低迷に伴う顧客の投資抑制によりメモリー向けテスター需要が落ち込み、大幅な減収となりました。台湾のSTAr Technologies, Inc. は、市況低迷によりプローブカードの需要が回復に至らず販売が伸び悩んだものの、信頼性試験装置の販売が堅調に推移し増収となりました。

その結果、当事業の売上高は2,435百万円（前年同期比24.1%減）、セグメント損失は240百万円（前年同期はセグメント利益150百万円）となりました。

[半導体設計関連事業]

半導体設計関連事業は、新規顧客の開拓や既存顧客との関係強化を図るなど積極的な営業活動を行い、売上拡大及び収益の安定化に努めてまいりました。EDA他については、主力商品である半導体設計用（EDA）ソフトウェアの新規顧客向け販売や既存顧客からの受注が概ね堅調に推移したものの、一部商品の取り扱い終了に伴い減収となりました。三栄ハイテックス株式会社のLSI設計受託ビジネスは、海外事業が増収となったことに加え、国内における主力顧客の需要も堅調に推移したことにより増収増益となりました。一方、株式会社モーデックのシミュレーションモデル製品販売や設計支援サービスは半導体や自動車関連向けの受注が伸び悩み前年同期実績には及びませんでした。

その結果、当事業の売上高は3,193百万円（前年同期比4.5%減）、セグメント利益は168百万円（同2.6%増）となりました。

[システム・サービス事業]

システム・サービス事業は、当社グループのエンジニアリング力を活かし、特徴ある製品の開発やサービスの提供に注力してまいりました。当事業においては、半導体不足の影響が一部において継続しておりますが、先行手配や新規調達先開拓、代替部品への変更などにより納期対応に努める一方、展示会への出展により新規顧客の獲得を図るなど積極的な営業活動を行ってまいりました。自社製CPUボードやBOX型コンピューターなどの組込み製品は、社会インフラや産業機械向けなどを中心とした需要が引き続き高いことに加え、防衛やセキュリティ関連向けも伸長し増収となりました。アイティアアクセス株式会社は、決済端末の需要が増加したことに伴いクラウド決済サービスも堅調に推移し増収増益となりました。ガイオ・テクノロジー株式会社は、自動車関連の需要が徐々に回復の兆しを見せるなか、車載向け組込みソフト検証ツール販売及びエンジニアリングサービスはいずれも前年同期実績を上回りました。株式会社レグラスのAIカメラシステムは、量産販売が堅調だったことに加え、受託開発も概ね順調に進捗したことなどにより増収となりました。

その結果、当事業の売上高は3,060百万円（前年同期比23.2%増）、セグメント利益は295百万円（同54.4%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は44,339百万円となり、前連結会計年度末に比べ710百万円増加いたしました。これは主に、受取手形、売掛金及び契約資産が減少したものの、商品及び製品や現金及び預金、仕掛品が増加したことなどによるものであります。

一方、負債は20,257百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,217百万円増加いたしました。これは主に、未払法人税等が減少したものの、前受金が増加したことなどによるものであります。

純資産は24,082百万円となり、前連結会計年度末に比べ507百万円減少いたしました。これは主に、利益剰余金や為替換算調整勘定が減少したことなどによるものであります。この結果、自己資本比率は52.2%となり、前連結会計年度末に比べ1.9ポイント減少いたしました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月12日に公表いたしました業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,598,397	6,873,115
受取手形、売掛金及び契約資産	9,665,796	8,384,634
商品及び製品	4,839,267	5,720,574
仕掛品	1,349,057	1,620,256
原材料	1,917,086	2,058,532
その他	1,593,453	2,205,019
貸倒引当金	△5,525	△4,985
流動資産合計	25,957,534	26,857,148
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,736,726	8,767,096
減価償却累計額	△5,296,141	△5,360,575
建物及び構築物 (純額)	3,440,585	3,406,521
土地	5,848,453	5,848,453
その他	4,714,190	4,371,522
減価償却累計額	△2,540,060	△2,151,816
その他 (純額)	2,174,129	2,219,705
有形固定資産合計	11,463,168	11,474,681
無形固定資産		
のれん	1,005,860	957,317
その他	1,231,053	1,259,053
無形固定資産合計	2,236,914	2,216,370
投資その他の資産		
投資有価証券	1,734,408	1,778,000
その他	2,237,239	2,013,701
投資その他の資産合計	3,971,647	3,791,702
固定資産合計	17,671,730	17,482,754
資産合計	43,629,265	44,339,902

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,053,286	2,806,281
短期借入金	5,240,966	5,679,149
1年内償還予定の社債	2,200,000	2,200,000
1年内返済予定の長期借入金	630,016	580,016
未払法人税等	439,423	151,563
前受金	3,118,406	4,895,553
賞与引当金	317,395	371,013
役員賞与引当金	6,200	14,056
その他	2,062,759	1,706,324
流動負債合計	17,068,453	18,403,959
固定負債		
長期借入金	1,073,280	953,276
役員退職慰労引当金	174,453	155,232
株式給付引当金	18,598	23,303
退職給付に係る負債	301,560	324,469
その他	402,931	396,771
固定負債合計	1,970,824	1,853,053
負債合計	19,039,278	20,257,012
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,517,159	10,517,159
資本剰余金	4,242,744	4,242,744
利益剰余金	8,697,421	8,425,868
自己株式	△651,358	△651,358
株主資本合計	22,805,967	22,534,414
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	100,295	135,083
繰延ヘッジ損益	△44,960	6,511
為替換算調整勘定	756,761	494,147
退職給付に係る調整累計額	△12,686	△11,117
その他の包括利益累計額合計	799,409	624,625
新株予約権	128,849	128,849
非支配株主持分	855,760	794,999
純資産合計	24,589,987	24,082,889
負債純資産合計	43,629,265	44,339,902

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	9,036,740	8,689,431
売上原価	6,311,676	6,058,884
売上総利益	2,725,064	2,630,546
販売費及び一般管理費	2,381,801	2,529,266
営業利益	343,262	101,280
営業外収益		
不動産賃貸料	111,133	114,490
為替差益	190,207	204,095
その他	14,413	39,410
営業外収益合計	315,754	357,996
営業外費用		
不動産賃貸費用	81,969	94,272
その他	26,300	39,929
営業外費用合計	108,269	134,202
経常利益	550,746	325,074
税金等調整前四半期純利益	550,746	325,074
法人税等	296,895	165,711
四半期純利益	253,851	159,363
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△12,139	△30,492
親会社株主に帰属する四半期純利益	265,990	189,855

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	253,851	159,363
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,462	34,788
繰延ヘッジ損益	79,908	51,472
為替換算調整勘定	87,023	△266,674
退職給付に係る調整額	798	1,568
その他の包括利益合計	169,193	△178,844
四半期包括利益	423,044	△19,481
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	429,083	15,071
非支配株主に係る四半期包括利益	△6,039	△34,553

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	テストソリューション事業	半導体 設計関連事業	システム・ サービス事業	計		
売上高						
テスター	1,823,519	—	—	1,823,519	—	1,823,519
STAr Technologies	1,385,152	—	—	1,385,152	—	1,385,152
EDA他	—	2,320,177	—	2,320,177	—	2,320,177
三栄ハイテックス	—	929,347	—	929,347	—	929,347
モーデック	—	94,175	—	94,175	—	94,175
組込みシステム他	—	—	422,630	422,630	—	422,630
アイティアアクセス	—	—	1,248,783	1,248,783	—	1,248,783
ガイオ・テクノロジー	—	—	751,741	751,741	—	751,741
レグラス	—	—	61,211	61,211	—	61,211
顧客との契約から生 じる収益	3,208,672	3,343,700	2,484,367	9,036,740	—	9,036,740
外部顧客への売上高	3,208,672	3,343,700	2,484,367	9,036,740	—	9,036,740
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	3,134	3,134	△3,134	—
計	3,208,672	3,343,700	2,487,502	9,039,875	△3,134	9,036,740
セグメント利益	150,865	164,081	191,490	506,437	△163,175	343,262

(注) 1. セグメント利益の調整額△163,175千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△163,834千円及び棚卸資産の調整額658千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	テストソリューション事業	半導体 設計関連事業	システム・ サービス事業	計		
売上高						
テスター	529,038	—	—	529,038	—	529,038
STAr Technologies	1,906,447	—	—	1,906,447	—	1,906,447
EDA他	—	2,082,034	—	2,082,034	—	2,082,034
三栄ハイテックス	—	1,038,701	—	1,038,701	—	1,038,701
モーデック	—	73,194	—	73,194	—	73,194
組込みシステム他	—	—	636,575	636,575	—	636,575
アイティアアクセス	—	—	1,396,631	1,396,631	—	1,396,631
ガイオ・テクノロジー	—	—	917,260	917,260	—	917,260
レグラス	—	—	109,547	109,547	—	109,547
顧客との契約から生じる収益	2,435,486	3,193,930	3,060,014	8,689,431	—	8,689,431
外部顧客への売上高	2,435,486	3,193,930	3,060,014	8,689,431	—	8,689,431
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	696	2,886	3,582	△3,582	—
計	2,435,486	3,194,627	3,062,900	8,693,014	△3,582	8,689,431
セグメント利益又は損失(△)	△240,126	168,270	295,712	223,856	△122,576	101,280

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△122,576千円は、セグメント間取引消去37千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△122,671千円及び棚卸資産の調整額57千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、(セグメント情報)に記載のとおりであります。